

# 進木

進木【すぎ】・・・『杉』の語源。ぐんぐんと上に向かって、まっすぐに進む木の様子。



第7号

2024年6月 発行

## 相手と向き合うことは

## 自分を知ること、自分と向き合えること

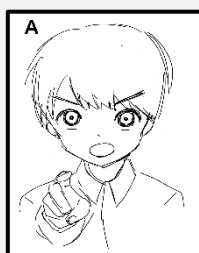
6月に入り、暑い日(日中が30℃を超える)が続いています。その一方で、一日の気温差がたいへん大きく、気持ちや体調が不安定になりがちな時期です。このようなときは、「イライラして誰かに“つつい”キツイ言葉を発してしまう」「イライラして“つつい”モノにあたってしまう」「気持ちが落ち込んで“つつい”自分を責めてしまう」…そんな“つつい行動”によって、あらぬトラブルとなってしまうがちです。

突然ですが  
問題です

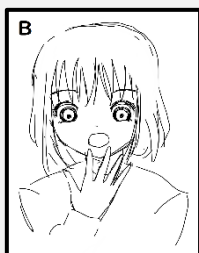
## 「この人はどんな気持ち？」

※問題は宮口幸治さんの【著書】を参照しています。イラストは山岡先生作です。

2つのイラスト(A)(B)に描かれている人は今、それぞれどんな気持ちでしょう？  
この人たちにはそれぞれにいったい何があつたんでしょう？表情をみて、想像してみてください。



感情:怒っている 【A先生】  
理由:自分にとって嫌なことがあつたから

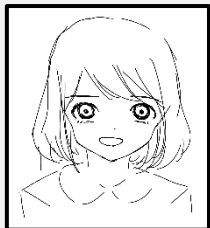


感情:ビックリしている 【A先生】  
理由:突然の出来事が起こつたから

感情:何かを指摘している 【校長先生】  
理由:指の動きや真剣な眼差しをしている

感情:ハッとしている 【校長先生】  
理由:大事なことを思い出したから

1つのイラストをとっても、人それぞれに思っていることや感じるものが違うように、あらゆる物事における感じ方や考え方は「価値観」は人それぞれに『違い』があります。大きく違うこともあれば小さく違うこともあります。さらに、そのときの状況や気分によっても『価値観』が変化する場合もあります。「人それぞれの『違い』をみることで、自分との『違い』を知り、自分のことを知ること」につながっていくと思います。そんな思いで行動してみてください。相手の表情をみて言動することを心がけてみてください。日常での「おはよう」「ありがとう」、失敗したときの「ごめんなさい」を大切にしてください。



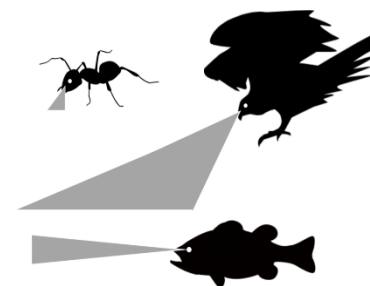
最後に…、右のイラストに描かれている人は今、どんな気持ちだと思いますか？

昨年の生徒指導通信でも掲載しましたが、【物事の見方・捉え方】について、『4つの目』を紹介し  
ます。人も物事も、「見方」や「捉え方」が変わると違った受け止め方ができ、新しい発見や発想が  
生まれるきっかけになることがあります。

## 『4つの目』について

行動を起こす上で必要となる考え方についてお話します。みなさんがこれから旅立っていく  
社会では何か新しいプロジェクトや目標を立てたり、目標に向かって行動したりするときに、  
3つの視点を大切にすることが大切です。その3つとは…「鳥の目」「虫の目」「魚の目」です。

- 「鳥の目」…物事を遠くから俯瞰的に捉えること、  
つまりは『木を見て森を見ず』という  
ことがないようにすること。
- 「虫の目」…物事を近くから正確に捉えること。
- 「魚の目」…物事の流れを捉えること。



【<https://workaholicdiary.com/work-hacks/three-eyes>】より参照

～では、「学習」に置き換えて考えてみましょう～

- 【鳥の目】…どの教科をいづれくらい勉強するのか、授業やテストに合わせて計画を立てま  
しょう。メモ帳や連絡帳などを活用するとよいと思います。
- 【虫の目】…一つ一つの課題を何度も繰り返し学習(予習・復習)し、正しく理解をしまし  
ょう。
- 【魚の目】…新しく学んだことが今後の学習に役に立つかもしれない、他の教科でも応用できる  
かもしれない、という視点を持って学習してみましょう。

ちなみに…、大きな変化が起こっている現代社会では、特に「蝙蝠の目」が必要であると言  
われています。どのような視点でしょうか？

「蝙蝠の目」…蝙蝠は洞窟の天井や木にぶら下がって常に逆さまに物事をみて  
います。つまり、逆の立場で見る・考える、または発想を変え  
るという視点です。固定概念やこれまでの常識を根底から覆し  
て物事を捉えるということです。



みなさんが何かにチャレンジしたり、目標に向かって行動するときの参考にしてみてください。

一人一人にとって安全・安心な学校をめざして…一人一人の少しずつの行動で学校は変わる!